

平成 29 年 12 月 18 日

養父市議会議長 深 澤 巧 様

予算特別委員会

委員長 勝 地 貞 一

予算特別委員会審査報告書

平成 29 年 12 月 5 日、本委員会に付託された事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、養父市議会会議規則第 101 条の規定により報告します。

記

- 1 審査年月日  
平成 29 年 12 月 6 日 (水)・11 日 (月)
- 2 審査結果

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第 72 号	平成 29 年度養父市一般会計補正予算 (第 4 号)	原案可決すべきもの
議案第 73 号	平成 29 年度養父市国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決すべきもの
議案第 74 号	平成 29 年度養父市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決すべきもの
議案第 75 号	平成 29 年度養父市介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決すべきもの
議案第 76 号	平成 29 年度養父市水道事業会計補正予算 (第 1 号)	原案可決すべきもの
議案第 77 号	平成 29 年度養父市下水道事業会計補正予算 (第 2 号)	原案可決すべきもの

(別紙) 審査内容等報告書

(別紙)

予算特別委員会 審査内容等報告書

議案第 72 号 「平成 29 年度養父市一般会計補正予算（第 4 号）」

- 【質疑】平成 17 年にとがやま温泉の温浴システム改修工事を行い、サービス対価を増額したにもかかわらず、スケール対策に係る費用の約半分 1,200 万円を市が負担するのはなぜか。
- 【答弁】契約書の「町と事業者は施設に対する温泉水の安定的な供給に関し、お互いに協力し、運営に係わる必要な調整を担うものとする」との条文に基づき、両者で負担したいという提案である。
- 【質疑】スケールに係る費用については、平成 19 年にスケール問題が再燃した時にどちらが負担するかを明らかにすべきであった。結論が出せずに今日まで来たのはなぜか。
- 【答弁】市が約 3,300 万円の経費をかけ温浴システム改修工事を行った後に、スケール問題が再燃したものであり、議論を重ねてきたが結論が見出せなかった。
- 【質疑】リニューアルのオープンに向け、これ以上スケール対策は必要ないと考えているのか。
- 【答弁】現在リニューアル工事は一切行っていない。事業主体、運営者が変わったのみであり、スケール問題に関わって発生する費用は市が負担する考えで基本協定を結んでいる。
- 【質疑】学童保育については、今年度から土曜日開設と時間延長に伴う予算を増額したものであったが、なぜ減額補正したのか。
- 【答弁】土曜日開設と時間延長を始めた結果、利用のない土曜日があり、その日については休所としている。このような預かり状況を精査し、指導員の賃金予算を減額することとした。
- 【質疑】養父市文化会館（仮称）の建設用地については、債務負担額を上限として、グンゼ八鹿工場跡地の全面取得の契約をずるとしている。今後埋設物等が出てくる可能性がある中で瑕疵担保等が明確になっていないが、増額する可能性はないのか。
- 【答弁】現在、所有者が県に届け出を行い、埋設物の有無を確認するため建物撤去の際に試掘を行うと聞いている。面積が非常に大きく全ての場所を試掘することはできない。限度額の中で取得したい。
- 【質疑】用地単価は、県の基準値や周辺の路線価等を参考にして個別に比準を行い、実勢価格に近い内容で評価ができていないのか。

【答弁】土地の形状・面積を勘案しながら算出しており、適正な価格と認識している。

【質疑】施設規模等、計画内容について、グンゼ八鹿工場跡地周辺の地域住民に情報提供し、理解は得られているのか。

【答弁】グンゼ八鹿工場跡地周辺の地元区長、役員には説明をした。基本計画についてはパブリックコメントによる意見募集を行い、現在、意見をまとめているところである。計画策定後は、広報等で周知していきたい。

#### 議案第 76 号 「平成 29 年度養父市水道事業会計補正予算（第 1 号）」

【質疑】大幅に消費税が減額されているが、見込み誤りか。

【答弁】市の出資金について税法上の取り扱いが未確定であったが、協議の結果、不課税扱いとなったことによる減額である。